

取締役の専門性及び経験（スキル・マトリックス）

属性 氏名 地位	戦略（事業再生・企業変革）	財務・税務・資金管理・IR	調達・リサイクル	技術開発・生産管理	営業・マーケティング	IT/DX	人的資本	法務コンプライアンス	ガバナンス・ESG
伊藤 正人 代表取締役	●			●	●	●			●
佐藤 義和 取締役	●		●		●			●	●
<div>社外独立</div> 鷲巣 寛 取締役	●				●		●	●	●
<div>社外</div> 印東 徹 取締役	●	●	●					●	●
<div>社外</div> 田中 耕路 取締役	●			●	●	●	●		●
<div>社外</div> 宮本 洋之 取締役	●	●				●	●	●	●
<div>社外独立</div> 青野 豪 取締役(監査等委員)	●	●						●	●
<div>社外独立</div> 中川 有紀子 取締役(監査等委員)	●				●		●		●
飯塚 茂 取締役(監査等委員)	●			●		●			●
<div>社外</div> 社外取締役	<div>独立</div> 東京証券取引所等の定めに基づく独立取締役								

〈各項目の選定理由〉

戦略（事業再生・企業変革）	当社は金融機関等のステークホルダーと合意のもと事業再生期間を設け、成長施策の実行と業務生産性の向上を通じて、持続的な企業価値の向上を目指しています。そのため、取締役には事業再生・企業変革の大方針となる戦略の立案・実行力が必要です。
財務・税務・資金管理・IR	当社は過去の経営判断により財務基盤を大きく損ない、株主及び資本市場から厳しい評価を受けました。再生期間においては財務規律ある経営、税務コンプライアンスの徹底、資本市場での信頼回復が重要であり、取締役にはこれらに関する知見が必要です。
調達・リサイクル	製品製造を支えるバリューチェーン上、調達は重要な機能です。当社は事業再生期間における目指す姿を「社会インフラを支えるリサイクリングのリーディングカンパニー」と定め、リサイクル比率の向上を進めてまいります。よって、取締役には調達・リサイクルに関する知見が必要です。
技術開発・生産管理	当社は品質向上と用途多様化を目指して技術開発を進めるとともに、生産工程では稼働最適化と安全性確保に取り組んでいます。取締役にはこれらを支える技術・生産管理の知見が必要です。
営業・マーケティング	当社製品は法人向けであり、営業手法の実践とニーズの把握が不可欠です。市場環境や顧客ニーズの変化に対応し、製品の魅力を適切に訴求する能力が求められるため、取締役には営業・マーケティングの見識が求められます。
IT/DX	過去においてはIT投資が不十分でしたが、再生期間においてはITインフラ整備に加え業務効率化や操業高度化を実現するためのDX推進が重要な課題です。そのため、経営を担う取締役にはIT及びDXに関する見識が求められます。
人的資本	人的資本はあらゆる企業にとって経営上の重要なテーマです。当社は、事業再生期間において事業推進に係る経営・中間管理職層人材の育成を目指しております。そのため、取締役には人的資本に関する知見が必要です。
法務コンプライアンス	全企業にとって法務コンプライアンスの遵守は経営上の重要なテーマです。更に、当社は不採算事業の撤退など非連続的施策を進めており、法務リスク管理の重要性が増しています。取締役には、企業経営における法務コンプライアンスの知見が必要です。
ガバナンス・ESG	過去の反省から、現在は指標モニタリングや会議体整備を通じたガバナンスの強化を図ると共に、各種ステークホルダーに対する社会的責任の遂行を重視しています。そのため、取締役にはガバナンスおよびESGに関する深い見識が求められます。

取締役会の運営と実効性向上のための取組みについて

Plan 実行計画の策定

- 10年ビジョン、中期経営計画、前年度の実効性評価結果に基づく戦略・施策・課題の共有
- 上記の戦略等を踏まえた年度計画の策定・共有
- 計画達成に必要な取締役のスキルの設定とスキル・マトリックスの作成

Do 取締役会の運営

- 計画に基づく取締役会の運営とそのモニタリング
- スキル・マトリックスの属性を意識した取締役会での活発な議論
- IRミーティング、統合レポート等による情報発信

Check 実効性評価

- アンケート形式による自己評価
 - 結果を評価・分析し取締役会で議論
- ※コーポレートガバナンス報告書の補充原則4-11③に関する開示も参照

Action 課題の認識と対策

- 評価結果による課題の認識
- 認識された課題を解決するための施策の構築
- 施策を反映した実行計画の策定

